

I 主要事業の活動状況

1. 電話相談

- (1) 通常電話相談 (024-536-4343)
- (2) 日本いのちの電話連盟「自殺予防フリーダイヤル」に参加
(0120-738-556)
 - ・毎月 10 日～11 日の 24 時間受信

*電話受信総件数 (平成 26 年 1 月～12 月)

- 総件数：17,497 件 (前年は 18,194 件)
 - <内訳> 福島センター 9,603 件
 - 郡山分室 7,217 件
 - 自殺予防フリーダイヤル 677 件
- 上記のうち自殺傾向の件数：1,422 件 (前年は 1,630 件)

2. 相談員養成研修及び継続研修等

- (1) 第 17 期生養成研修第 3 課程：受講者 6 名
- (2) 第 18 期生養成研修第 1 課程受講者 9 名、第 2 課程受講者 7 名
- (3) 相談員継続研修 (相談員全員対象)
 - ア. グループ研修 (継続研修)：12 グループごとに毎月 1 回開催
 - イ. 全体研修：年 2 回
 - (ア) 5 月 講義「若者の自殺予防と危機的な電話の対応」講師：佐々木久長氏
ワーク「いのちの電話相談員に求められるもの」
 - (イ) 10 月 講義及びワーク「危機介入」講師：福山清蔵氏
 - ウ. 個人スーパービジョン：全相談員各年 1 回
- (4) 第 2 期リーダー養成特別研修第 2 課程：受講者 5 名 修了者 4 名
- (5) 復務特別研修
 - 長期休務者に復務の意向確認等を行ったが、研修を希望する者はなかった。
- (6) 相談員自主研修
 - ア. 精神科医との意見交換会 (2 月 28 日) 講師 村上敦浩氏 (15 名参加)
 - イ. 「共感力を高めるために」 (3 月 8 日) 講師 田中幸治氏 (24 名参加)
 - ウ. 「相談員のストレス解消のために」 (3 月 14 日) 講師 内山清一氏 (14 名参加)

3. 相談員の認定

- (1) 実働相談員数 (継続) 111 名 (平成 27 年 4 月 1 日現在)
- (2) 新規認定相談員数 (第 17 期生) 6 名 (認定式：平成 27 年 3 月 7 日)
- (3) 仮認定相談員数 (第 18 期生) 7 名

4. 公開講座の開催

(1) 春季公開講座

回	日 時	演 題	講 師
第1回	5月10日(土)	最近の自殺の傾向と原因について	弁護士 新開 文雄
第2回	5月17日(土)	自殺予防といのちの電話	秋田大学准教授 佐々木久長
第3回	5月24日(土)	悲しみから希望をつなぐ～ 自殺予防とグリーンケアを 考える～	一般社団法人リヴオン代表 尾角 光美
第4回	5月31日(土)	怒りのコントロール	会津大学短期大学部教授 市川 和彦
第5回	6月7日(土)	笑い与健康～笑って笑って ストレス解消～	福島県立医科大学疫学講座 主任教授 大平哲也

会 場：第1・3・5回 福島市市民会館

第2・4回 喜多方市総合社会福祉センター

参加者：延べ325人

(2) 秋季公開講座

期 日：平成26年11月8日(土)

場 所：南相馬市かしま交流センター

講 師：小説家・劇作家 柳 美里

演 題：「警戒区域」

参加者：約80名

5. 財政基盤の確立

(1) 会費収入の確保

平成26年度の会員寄付金(会費)収入

当年度実績額 6,774,000円(前年度実績額 6,990,975円)

個人会員 3,037,000円(同 3,694,975円)

法人会員 2,434,000円(同 2,035,000円)

賛助会員 1,303,000円(同 1,261,000円)

(2) 新規会員の確保

平成26年度新規会員数 62名

平成26年度末会員数 1,418名(25年度末1,401名)

(3) 補助金・助成金等の実績

- ・福島県自殺対策緊急強化基金事業民間団体補助金 3,342千円
- ・福島県共同募金会配分金 30万円
- ・読売光と愛の事業団助成金 200万円 ほか

6. 広報活動の推進

(1) 広報紙冬号(44号)及び春号(45号)の発行

(2) 相談員募集広報の展開

ア. 新聞広報

- ・春季公開講座広報と併せて実施(平成26年4月)
- ・中央紙3紙、地方紙2紙等に掲載

イ. ラジオ広報

- ・平成27年度相談員募集のためのスポット(20秒)CM
- ・平成27年1~3月延べ60回放送(ラジオ福島、ふくしまFMと契約)

(3) ホームページの充実(適時適切なメンテナンス等)

7. 支部活動の推進

(1) 支部総会等の開催

ア. 伊達支部:平成26年5月10日(土) 支部総会、講演会

イ. 郡山支部:平成26年5月31日(土) 支部総会、講演会

ウ. 喜多方支部:平成26年6月14日(土) 支部総会、講演会

(2) 各支部の活動

チャリティ・ミニコンサート開催協力、法人広報誌の配布、その他支部独自の諸活動を行った。

8. 中長期計画の推進

平成21年度に策定した中長期計画に基づき、次のような取り組みを実施した。

(1) 相談活動の充実強化

- ・24時間電話相談一部実施(毎月第3土曜日24時間相談)

(2) 財政基盤の確立

ア. 会員の確保

平成26年秋~27年春にかけて、福島、郡山商工会議所や県医師会等の協力を得て、会員拡大に取り組み、23名(団体)が新規加入した。(27.3.31現在)

イ. チャリティ・バザー開催(福島市・郡山市)

ウ. チャリティ・コンサート開催

- ・平成26年9月29日 伊達市梁川町 34名参加

9. 電話相談に関する調査研究事業

(1) 東日本大震災・原発事故関連の相談に関する調査研究報告書作成

震災以降福島いのちの電話相談員が受けた震災・原発事故に関する相談を分類・考察し、今後の活動にどう生かすかを検討

(2) 「若者の自殺を考える」調査研究報告書作成

平成26年秋に福島市で開催した「いのちの大切さを考えるフォーラム」での講演やパネルディスカッションの様様、「若者が悩みを抱えたとき、誰に、どのような方法で相談しているのか」を県民に聞いたアンケート結果等をまとめた。

(3) 自殺傾向のある電話相談に関する調査研究報告書作成

福島いのちの電話相談員が受けた「死にたい」等自殺傾向のある相談を分類・考察したほか、平成26年春に喜多方市で開催した春季公開講座における「自殺予防といのちの電話」講義概要等を掲載

(4) インターネット相談の調査研究

- ・平成27年1月に仙台市で開催された「インターネット相談員エリア研修会」に、相談員3名が参加

10. “いのち”の大切さを考えるフォーラムの開催

日 時：平成26年11月9日（日）

会 場：福島市 ウェディングエルティ

入場者：88名

(ア) 基調講演

- ・講師：見城美枝子氏
- ・演題：「若者の自殺を考える～支え合って生きる～」

(イ) パネルディスカッション

- ・テーマ：「何が若い世代を追い詰めているのか」
- ・コーディネーター：東北福祉大学総合福祉学教授 渡部純夫氏
- ・パネラー：福島大学人間発達文化学類教授 内田千代子氏
NPO法人自殺対策支援センター副代表 根岸 親氏
NPO法人Light ring 代表 石井綾華氏

11. シンポジウム～震災・原発事故から4年、福島の今～の開催

日 時：平成27年3月29日（日）

会 場：郡山市労働福祉会館

【開催の目的】

震災・原発事故以降福島いのちの電話が受信した相談内容の変化や被災者・避難者支援の様々な取り組みを踏まえ、被災者・避難者はじめ県民の心の健康と自殺予防をどう実現するかを、県民とともに考える。(共同募金配分金を活用)

【開催結果】

入場者：80名

(ア) 基調報告

「震災関連相談の推移」

報告者：福島いのちの電話調査研究委員会委員 田中照子氏

(イ) パネルディスカッション

テーマ：震災原発事故から4年～何が変わり、何が変わらないのか～

コーディネーター：郡山女子大学講師 堀 琴美氏

パネリスト：

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 天野和彦氏

南相馬市社会福祉協議会事務局長 田村早人氏

福島いのちの電話調査研究委員 田中照子氏

II 役員会、各委員会等の活動状況

1. 理事会、評議員会

回	期 日	理 事 会	評 議 員 会
第 1 回	平成 26 年 5 月 27 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度事業報告について ・平成 25 年度収支決算について 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度事業報告について ・平成 25 年度収支決算について
第 2 回	平成 26 年 10 月 26 日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度事業計画変更につ いて ・平成 26 年度収支補正予算（第 1 回）について ・評議員の委嘱同意について 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度事業計画変更につ いて ・平成 26 年度収支補正予算（第 1 回）について
第 3 回	平成 27 年 3 月 28 日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度事業計画変更につ いて ・平成 26 年度収支補正予算（第 2 回）について ・平成 27 年度事業計画について ・平成 27 年度収支予算について ・理事長専決規程について ・委員会等規程改正について ・電話相談員に関する規程改正に ついて ・経理規程改正について ・評議員の委嘱同意について 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度事業計画変更につ いて ・平成 26 年度収支補正予算（第 2 回）について ・平成 27 年度事業計画について ・平成 27 年度収支予算について ・理事長専決規程について ・委員会等規程改正について ・電話相談員に関する規程改正に ついて ・経理規程改正について

2. 各委員会等の活動及び各種会議の開催

(1) 運営委員会

おおむね隔月ごとに、年間 8 回開催した。

(2) 各委員会

総務財務委員会、研修委員会、相談委員会、調査研究委員会、広報委員会を定期的に開催した。

(3) 認定会議

平成 26 年 7 月 5 日 第 18 期養成研修受講申込者審査、長期休務者の対応について

平成 27 年 2 月 28 日 第 17 期生認定、第 18 期生仮認定、次年度相談員委嘱更新認定、
休務者の復務認定

(4) 公開講座実施本部会議

年間 6 回開催し、春季公開講座及び秋季公開講座の円滑な実施について協議した。